

☆☆ 調査研究成果報告会を開催します ☆☆

中小機構中部支部では、平成22年度に中小機構経営支援情報センターが実施した調査・研究成果の報告会を開催いたします。

今話題の「ソーシャルビジネス」など、近年関心の高いテーマを取り上げ、まとめた調査結果について研究担当者から直接報告させていただきます。

貴重な最新情報を得る絶好の機会ですので、ぜひご参加ください。皆様のご来場をお待ちしております。

■日 時：平成23年10月6日（木）15：00～17：00 *17：00～ 懇親会を開催します。

■会 場：JETRO名古屋IBSCホール（名古屋市中区錦2-2-22 名古屋セクタービル別館8F）

■プログラム：

【第1部】15：00～ 基調講演

「これからの中小企業経営のあり方」中小機構 副理事長 鈴木 良隆（45分）

【第2部】15：50～ 調査・研究報告

1. ソーシャルビジネス調査（25分）

① 日本の社会起業家の特徴と誕生の背景

② 社会企業家の起業過程から読み解く「新しい公共」とスモールビジネス

2. ITベンチャー企業の現在形～ITを介して生まれた新たな市場とその担い手たち～（15分）

3. 地域ベンチャー・ファイナンスに関する調査研究（15分）

4. 産地中小企業の海外販路開拓に係る実態と課題（15分）

*各テーマの詳細は裏面をご参照ください。

【第3部】17：00～ 懇親会

*懇親会会場は、当日参加者にご案内いたします（会費制：1,000円）。

■定 員：50名（先着順）

■申込方法：参加申込書に必要事項を記載し、FAXでお申し込みください。

■問合せ先：中小機構 中部支部 経営支援課 大田原・浅田 電話(052)220-0516 FAX(052)220-0517

《 参加申込書 》

Fax：052-220-0517

会社名・勤務先		役 職	
氏 名			
会社住所			
電話番号		FAX番号	
メールアドレス			
参 加	<input type="checkbox"/> 報告会のみ	<input type="checkbox"/> 報告会+懇親会	

※ 中小機構中部は、ご記入いただいたお名前、ご住所、メールアドレスなどの個人情報を、管理の為に利用させていただく他、メールマガジンの配信などに利用させていただく場合があります。プライバシーポリシー並びに個人情報に関する問い合わせは中小機構ホームページをご参照ください。

H22 年度 中小機構 経営支援情報センター 調査・研究報告書 一覧

テーマ名	内 容
<p>1. ソーシャルビジネス調査 1 (日本の社会起業家の特徴と誕生の背景)</p> <p>(担当：西田亮介)</p>	<p>ソーシャルビジネスは社会変革の担い手として NPO 法人を中心として増加。それらを「問題密着型」「地域密着型」に分類。事例の共通点は、①起業まで数年、②問題意識や出会いが動機付けのきっかけ、③資源と機会を得て創業。補助金依存でなく自律の支援が重要。</p>
<p>2. ソーシャルビジネス調査 2 (社会企業家の起業過程から読み解く「新しい公共」とスモールビジネス)</p> <p>(担当：西田亮介)</p>	<p>ソーシャルビジネスは社会貢献とビジネスの中間に存在し、その起業過程は、①問題意識の出現、②資源の探索、③起業家の決断となるが、特に、「強い問題意識」を維持・発展させることが支援のポイントとなる。</p>
<p>3. ITベンチャー企業の現在形 (IT を介して生まれた新たな市場とその担い手たち)</p> <p>(担当：西田亮介)</p>	<p>起業家は自身のビジョンと問題意識を出発点に起業家精神を発揮して、ユーザーコミュニティや潜在的な顧客の反応をとらえて機動力と柔軟性で成果を上げている。資金調達が課題であるが、新たにスタートアップスは既存の事業分野を超えて登場している。</p>
<p>4. 地域ベンチャー・ファイナンスに関する調査研究</p> <p>(担当：峯岸信哉)</p>	<p>地域ファンドは新規産業育成に有効であるが、成果がでるのはこれから。課題として、①ファンド規模が小さく・短いこと、②サポートする・される人材の不足、③支援機関との連携が不十分、④IPO 以外の出口戦略があげられる。</p>
<p>5. 産地中小企業の海外販路開拓に係る実態と課題</p> <p>(担当：川端伸清)</p>	<p>新潟県燕地域での金属洋食器、岐阜県高山地域での木製家具、飛騨の漆器について、歴史的な変遷、販路開拓の現状について述べて、海外販路を開拓するためには、人材の育成、商品の差別化、ブランド力などを強化し、支援機関の適切な支援が重要である。</p>
<p>6. ベンチャー企業の人材確保に関する調査</p> <p>(今回発表なし)</p>	<p>ベンチャー企業のニーズに合った人材確保については、「望ましい人材像」の明確化、中途より新卒の採用、求人広告ポータルサイト・ツイッターの活用等、企業の透明性と情報提供が重要としている。</p>
<p>7. 中小企業の管理会計システム～キャッシュフロー経営の視点から～</p> <p>(今回発表なし)</p>	<p>第1部は理論編(管理会計の基礎知識)で、事例を通してキャッシュフローの概念や定義を解説している。第2部では4社の導入事例として年商10億円以下の比較的小規模企業を紹介している。</p>

報告書は、以下のウェブサイトからもダウンロードできます。 <http://www.smrj.go.jp/keiei/chosa/053454.html>